

## Information (※このお知らせは、銚子記者会・千葉県政記者クラブに配信しています)

報道関係者 各位

### 「院外処方」への切り替えについて

総合病院 国保旭中央病院（所在地：千葉県・旭市、事業管理者：吉田 象二、病院長：田中 信孝、以下：当院）では、2015年7月～9月ごろをめどに、外来患者さんの薬を、現行の院内処方から「院外処方」に切り替えることを決定いたしました。

院外処方とは、病院が発行した処方せんを、患者さんが院外の保険薬局に持参して薬を受け取る方法で、国の推奨する「医薬分業」の考え方にに基づき、全国の病院の約75%がこの方法を取り入れています。

当院では現在全ての薬を院内で処方しておりますが、1日あたり約2,500人にのぼる外来患者さんに利用いただいていることに加え、薬剤部の病棟業務拡大等の影響で薬の待ち時間が長くなり、患者さんにご不便をおかけしております。院外処方に切り替えることで待ち時間が解消されるとともに、患者さんが自由に保険薬局を選び、ご都合に合わせて薬を受け取ることができます。また、保険薬局では患者さんの希望による後発医薬品への変更がしやすいことや、薬に関するきめ細やかな指導を受けられるなどのメリットがあります。

一方、当院業務の観点では、院外処方化により、現在調剤業務にあたっている薬剤師を入院患者さん中心の業務にシフトすることで、チーム医療への貢献や薬物療法の安全性の確保など、医療の質と患者サービスの向上が期待できます。

院外処方への切り替え後も、抗がん剤や抗HIV薬、治験薬等をはじめとする一部の薬は院内処方を継続する予定です。具体的な切り替え日、対象となる薬の詳細、処方せんの発行から薬の受け取りまでの詳しい手順などにつきましては、決まり次第、随時患者さんにお知らせしてまいります。

本件に関するお問い合わせ： 総合病院国保旭中央病院 広報室

TEL:0479-60-1030

FAX:0479-62-7690

E-mail: [kouhou@hospital.asahi.chiba.jp](mailto:kouhou@hospital.asahi.chiba.jp)

#### 旭中央病院について（2014年11月現在※患者数、平均在院日数は10月現在）

- 開設者：旭市長・明智 忠直 ●事業管理者：吉田 象二 よしだ しょうじ ●病院長：田中 信孝 たなか のぶたか
- 病床数：989（一般763床、精神220床、感染6床） ●診療科36科 ●職員数：1,981名（うち、医師238名、看護師853名） ●手術件数：約8,000件／年 ●1日平均患者数：外来2,458名、入院743名 ●年間救急受診数：48,855人（2013年度実績） ●平均在院日数：一般12.4日 ●診療圏：千葉県東部及び茨城県鹿島地区を含む東南部13市7町 ●診療圏人口：約100万人